

KOBE KAISEI HOSPITAL



# 神戸海星病院ニュース

## 留学より復職のご挨拶

整形外科 医長 鄭 克真 てい かつまさ

整形外科の鄭と申します。この度、2011年4月より約3ヶ月間、ヨーロッパにて留学研修をさせて頂きました。3ヶ月間、ポーランドの首都、ワルシャワにあるCarolina Medical Centerという施設にて研修させて頂きました。ポーランドでは有名なスポーツ整形外科の特化した施設で、オリンピック選手などトップアスリートの診療や、半月板移植術など、日本ではまだ認められていない診療についても勉強させて頂きました。手術室は驚くほど高度な設備を備え、診療待ちの患者様のために無線LANの導入やリラックス室など、患者様への配慮が多く見られた病院でした。何よりも、同院スタッフ一人一人が患者様の診療に対する情熱を強く持ち、平日は仕事詰めでした。その分、週末は同僚がよく飲み連れに行ってくれ、さすがロシアとドイツの間の国だけあり、酒はめっぽう強く、ウォッカをショットで飲まされてばかりの週末でした。その点も鍛え上げられ、日本人は酒が弱いという元の印象を潰す事が出来ました。また、旅行でもなかなか行く機会のない、アウシュビッツ囚人収容所博物館では、世界に残る人類の負の遺産として、さすがの私も閉口するしかありませんでした。



7月上旬にはドイツ、イタリアのナビゲーションを用いた人工膝関節置換術を活発にしておられる大学病院に手術見学へ行きました。日本との着眼点の違いなど、非常に勉強になり、その中には、人工関節手術後3、4日目でほぼ全員の患者様が歩いて退院される事がなによりも驚きました。ポーランドで10kg痩せましたが、ドイツ、イタリアでほぼ元通りになりました。パスタ美味すぎ・・・。

当院整形外科に7月より復職させて頂いております。ヨーロッパで学んだ事を活かし、人工関節手術を主として、先端の医療を提供できるよう、より一層砥礪に努める所存ですので、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

### ～プロフィール～

川崎医科大学医学部卒

神戸大学大学院医学系研究科修了

- 日本整形外科学会専門医
- 日本医師会認定健康スポーツ医
- 日本整形外科学会認定スポーツ医
- 日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医



アウシュビッツ囚人収容所博物館にて








# 視能訓練士をご存知ですか？

眼科 視能訓練士 村上 礼子

北棟1階眼科で検査全般を担当している5人組です。

視能訓練士（ORTHOPITIST 略してORT）は、皆さまにあまり知られていない職種かもしれません。臨床検査技師や理学療法士と同じく医療技術職の一つで、ORTは乳幼児からお年寄りまで世代を超えて目の健康を守るお手伝いをする、国家資格をもった眼科領域の専門技術者です。

当院では主に ①眼科一般検査分野（視力検査・眼圧検査・視野検査・眼底写真撮影・超音波検査など）、②視能矯正分野（斜視・弱視の治療のための視機能検査）などを担当しています。

 <p><b>視力検査</b> 近視・遠視・乱視といった屈折異常の矯正をします。眼鏡処方も行います。</p>	 <p><b>眼圧検査</b> 目に風を飛ばし目の硬さ（圧）を調べます。緑内障では重要な検査です。</p>
 <p><b>視野検査（動的量的視野検査）</b> 緑内障では本人が気づかないうちに視野欠損が進行します。診断・治療に不可欠な検査です。所要時間：片眼 約15分</p>	 <p><b>視野検査（静的量的視野検査）</b> 緑内障に不可欠な検査。所要時間：片眼 約5分</p>
 <p><b>眼底写真撮影 蛍光造影眼底撮影</b> 眼底出血や黄斑疾患などの眼底疾患や視神経炎やぶどう膜炎といった炎症疾患にも行います。</p>	 <p><b>光干渉断層計検査（OCT）</b> 弱い赤外光で網膜組織の断層を撮影します。糖尿病網膜症や加齢黄斑変性症などの診断・治療にも不可欠な検査です。</p>
 <p><b>両眼視機能検査</b> 斜視・弱視・眼筋麻痺などの治療には視能検査を行います。小児の視機能検査の教育を受けた視能訓練士の検査は、早期発見に大きく貢献し、子供の未来の視力をサポートしています。</p>	

上記以外にも白内障手術に必要な眼軸長測定検査・角膜内皮細胞撮影や、眼科手術に必要な検査も担当しています。

近年、眼科検査機器もどんどん進化しており、患者さまへの負担が少なく短時間で検査できるようになっています。目の病気は、外傷のように自分で悪いところを見ることができません。症状が進行してから気づくことが多いため、目に異常を感じられたら早めの眼科受診をお勧めいたします。

## Information

### ～『神戸海星病院 開院140周年記念 写真展』開催～

病院の歴史を語る、貴重な写真を展示いたします。ぜひお楽しみください。

期間 2011年10月3日（月）～ 2012年3月末（予定）

場所 海星病院エントランス・外来エリア

神戸海星病院ニュース 9月号 2011年 9月 1日 発行

医療法人財団 神戸海星病院

〒657-0068 神戸市灘区篠原北町3-11-15 <http://www.kobe-kaisei.org/>

TEL 078 (871) 5201(代表) 責任者 辻本 武志 編集責任者 森元 秀敏